※令和４年度以降入学生用

学校番号	４１０

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新編　現代の国語」（数研出版）						
副教材等	「書き込み式漢字ベーシック三訂版」（明治書院）、「国語表現ナビ」（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

実社会に必要な国語の知識や技能を身に着けましょう。

漢字や語彙に関する正しい知識を広げるため、教科書ならびに家庭学習用の漢字ワーク（「漢字ベーシック」）を用います。範囲を区切って小テストも実施しますので、しっかりと家庭学習に励んでください。

また、話し言葉と書き言葉の特徴を理解し、「相手に伝わる文章」を話したり、書いたりできるようになりましょう。教科書および、国語表現に関する基礎ワーク（「国語表現ナビ」）を使って、文の構造や表記の仕方など、基礎事項を学習しましょう。

他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしましょう。

他者の主張を正しく読み取り、それに対する自分の考えを言葉で伝えられるようになりましょう。また、情報の信頼性・必要性を見極め、取捨選択する力を身に着けましょう。

読書に親しみ、言葉がもつ価値への認識を深めましょう。

授業中の課題のみならず、自ら進んで読書に取り組みましょう。読書によってあなたの世界は無限に広がります。学校図書館も積極的に活用しましょう。

※提出物の期限は守りましょう。課題には丁寧に取り組みましょう。

２　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい表現を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・他者の主張・考えを理解し、それに対して自分の考えを述べることができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・読書を通じて世界を広げ、思索を深めることができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いができる。 常用漢字の読み書きに慣れ、文や文章の中で正しく使うことができる。文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解することができる。	（話すこと聞くこと） 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にし、言葉で表現することができる。 （書くこと） 自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を考え、表現の仕方を工夫できる。 （読むこと） 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確に捉え、論旨や要点を把握する。	粘り強く他者と向き合い、メモをしたり、質問をしたりするなどして理解を深めようとすることしている。読み手・聞き手を意識し、よりわかりやすい表現となるように努めようとしている。わからない表現に出会ったときには、辞書を引くなどして、知識を広げようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	書き手の意図をつかむ ［教材］ 目指す世界の地図を作る （鴻上尚史）	a：話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。 b［読］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：筆者の意図や表現上の工夫を粘り強く読み取り、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート
	日常の中の文章 ［教材］ 写真を文章で表現する	a：書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解し、使っている。 b［書］：自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 c：課題資料が示す内容を積極的に読み取り、読み手に伝わりやすい表現を工夫して、学習課題に沿って説明しようとしている。	行動の観察 ノート 発表 定期考査	行動の観察 ノート 発表 定期考査	行動の観察 ノート
	対比を読み取る ［教材］ 水の東西 （山崎正和）	a：個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 b［読］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート
	社会の中の文章 ［教材］ 文章の構成を工夫して提案する 〈企画書〉	a：実社会において表現するために必要な語句の量を増すとともに、語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［読］：読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 c：資料等を参考にしながら積極的に自分の考えを深め、表現や構成に工夫を凝らして、学習課題に沿って適切に企画書を作成しようとしている。	行動の観察 ノート 発表 定期考査	行動の観察 ノート 発表 定期考査	行動の観察 ノート
	コミュニケーションと言葉 ［教材］ 世間話はなぜするか （松井智子）	a：実社会において理解したり表現したりするために必要な語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［読］：目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 c：具体的な事例について筆者の主張をもとに粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート
	探求の扉―比べ読み― ［教材］ 非言語コミュニケーション （末田清子）	a：個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 b［話・聞］：目的に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 c：筆者の意見を踏まえて積極的に具体的な事例を考え、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート
2学期	日常の中の文章 ［教材］ 表現の工夫を読み取る 〈新聞〉	a：文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 b［書］：読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 c：課題資料を参考にしながら、伝わりやすい形式・表現を積極的に工夫し、学習課題に沿って適切に記事をまとめようとしている。	行動の観察 ノート 発表 定期考査	行動の観察 ノート 発表 定期考査	行動の観察 ノート 発表

※令和４年度以降入学生用

2学期	言葉を使う ［教材］ 適切に話す・聞くスピーチ	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b［話・聞］：話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 c：相手に伝わるスピーチのしかたについて粘り強く検討し、学習課題に沿って適切に話したり聞いたりしようとしている。	行動の観察 ノート 発表 定期考査	行動の観察 ノート 発表 定期考査	行動の観察 ノート 発表
	言葉の働きをとらえる ［教材］ 「語感トレーニング」 （中村明）	a：実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［読］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：筆者の意見を踏まえて具体的な事例を積極的に考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート
	言葉を使う ［教材］ 話し合いの方法 ディベート・討議	a：推論の仕方を理解し使っている。 b［話・聞］：論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価している。 b［話・聞］：論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的に応じて、結論の出し方を工夫している。 c：ディベートにおける論理の一貫性について進んで検討しようとしている。また、ディベートを踏まえて、自分の考え方について振り返り、積極的に話し合おうとしている。	行動の観察 ノート 発表 定期考査	行動の観察 ノート 発表 定期考査	行動の観察 ノート 発表
	根拠を読み取る ［教材］ 差という情報 （佐藤雅彦）	a：主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b［話・聞］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：筆者の意見を踏まえて積極的に自分の考えを深め、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート
3学期	根拠を読み取る ［教材］ 「わらしべ長者の経済学」 （梶井厚志）	a：文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 b［読］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：自分の考えが適切に伝わるように、主張や論拠の説明を積極的に補足しながら意見交換を行い、学習課題に沿って、自分の考えをさらに深めようとしている。	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート 定期考査	行動の観察 ノート
	言葉を使う ［教材］ 発表の方法 プレゼンテーション	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b［話・聞］：話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 c：相手にわかるような発表のしかたについて粘り強く検討し、今までの学習を活かして、多様な観点で表現を工夫しようとしている。	行動の観察 ノート 発表 定期考査	行動の観察 ノート 発表 定期考査	行動の観察 ノート 発表

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準［ｂ］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間